

【本件リリース先】

文部科学記者会、科学記者会、
広島大学関係報道機関



広島大学

NEWS RELEASE

広島大学広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2
TEL : 082-424-3701 FAX : 082-424-6040
E-mail : koho@office.hiroshima-u.ac.jp

令和2年9月18日

広島県で初の WATCHMAN 手術に成功 心房細動患者へ 脳梗塞などを予防

広島大学病院ハートブレインチーム*は、9月11日、広島県内では初めてとなる心房細動の患者さんへの左心耳閉鎖デバイス（WATCHMAN）の手術2例を実施、無事に終わりました。執刀は循環器内科の中野由紀子教授です。

心房細動は、加齢と共に増加する最も頻度の高い不整脈です。心房の動きが早く不規則になり、動悸やめまいの原因となったり、血栓ができやすく脳梗塞の危険性が5倍程度高まったりすることがわかっています。脳梗塞予防のため抗凝固療法が必要となりますが、出血リスクが高い患者さんでは抗凝固療法を行うのが難しく課題となっていました。

こういった患者さんのために開発されたのが WATCHMAN で、血栓が生まれやすいとされる左心耳を閉鎖するデバイスです。足からカテーテルを挿入し、左心耳に留置します。一回の手技で脳梗塞が予防でき、抗凝固療法が中止出来るので経済的な負担も軽減します。

WATCHMAN は2019年9月から保険適用となり、広島大学病院では先行施設として準備が進められていました。

今回、手術対象となったのは71歳男性と67歳女性です。それぞれ約2時間で終わり、術後は良好です。

*広島大学病院ハートブレインチーム＝循環器内科・心臓血管外科・脳神経内科・麻酔科・救命科など他科・多職種で構成された治療チーム

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学
Tel : 082-257-5540 (医局)

広島大学病院 広報・調査担当役 古市
Tel : 082-257-5418 FAX : 082-257-5087
E-mail : byo-toku-chousa@hiroshima-u.ac.jp

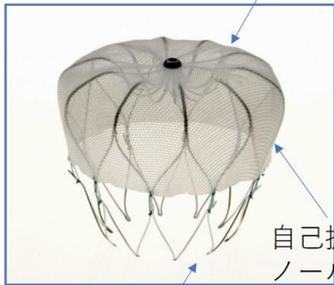
発信枚数：A4版2枚（本票含む）

左心耳閉鎖の最新治療

左心耳閉鎖デバイスの先行導入

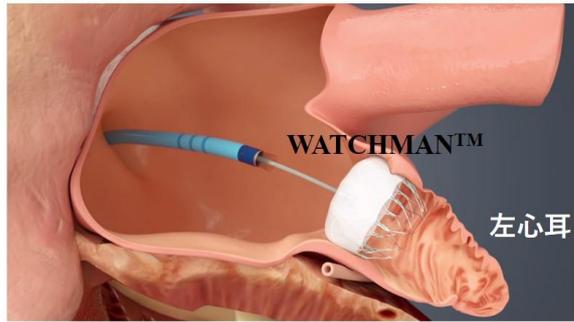
WATCHMAN™ (Boston Scientific)

ポリエチレン製の膜



自己拡張型ナイチ
ノールフレーム

左心耳内でデバイスを固
定するためのアンカー



左心耳にWATCHMAN™を留置した図



内皮が覆うので抗凝固療法を中止できる

経食道エコー所見
左心耳にWATCHMAN™留置後

